環境経営レポート
2022年度

（対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日）

2023 年　6 月 29 日　発行

リ・パレット株式会社

®環境省
エコアクション21
認証番号0005103

承　認	作　成
代表者	環境管理責任者
庄野	亀田
2023.6.29	2023.6.29

目次

1.　会社概要　2
（1）会社名
（2）代表者
（3）役員
（4）組織図
（5）創立
（6）資本金
（7）所在地
（8）会社履歴
（9）所属団体
（10）事業内容　3
（11）事業規模
（12）許可内容
（13）保有資格
（14）保有車両・重機　4
（15）製造工程
（16）処理実績
（17）地域融和活動
（18）環境経営管理組織　5
（19）環境経営関係責任者・担当者及び連絡先

2.　認証登録の対象範囲及び認証・登録番号、登録日　5

3.　環境経営方針　6

4.　環境負荷の実績　7

5.　今後の環境経営目標と計画　7

6.　主な環境経営活動計画の取り組み状況と次年度の取組内容　8

7.　環境経営活動計画の取り組み状況と次年度の取組内容　9

8.　社内での主な取り組み　10

9.　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無　11

10.　代表者による全体評価と見直し　11

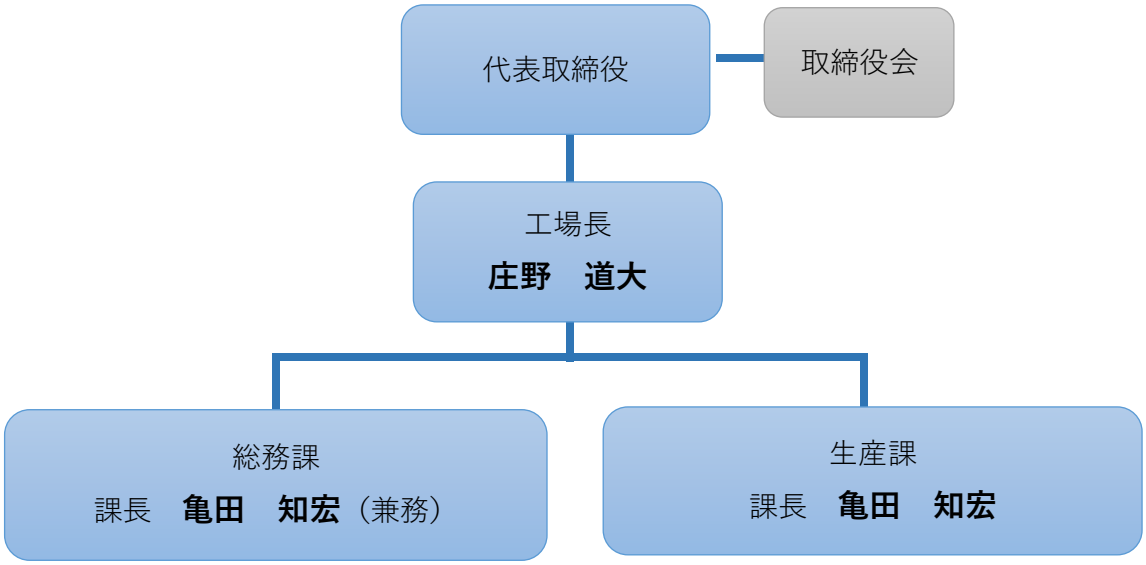
1. 会社概要・認証範囲（2023年2月1日現在）

（1）　会社名　リ・パレット株式会社

（2）　代表者　代表取締役　高橋 由太

（3）　役員　取締役　關　恵
取締役　川又 豊
監査役　猪股 敦

（4）　組織図



（5）　創立　2005年5月2日

（6）　資本金　5,000万円

（7）　所在地　〒293-0011 千葉県富津市新富87-2
電話　0439-80-1555
FAX　0439-87-1923
Eメール　re-pallet@re-pallet.co.jp

（8）　会社履歴　2005年5月　設立
2007年4月　操業開始 現在に至る

（9）　所属団体
富津商工会
新富工業協議会

（10）　事業内容　　一般廃棄物中間処理・再生、再生樹脂を原料とした
プラスチック成型品の製造・販売

（11）　事業規模　　① 売上高　1537　百万円　（ 2022年度）
② 従業員　47　名　（ 2023年2月1日現在 ）
③ 工場棟（事務所を含む）　7723　㎡
④ 工場敷地　15000　㎡
⑤ 処理能力　プラスチック再生処理能力 76,800kg/日
（23,424,000kg/年）

（12）　許可内容　　一般廃棄物処理施設の設置許可　千葉県知事許可第17-7号
許可年月日　2006年3月23日
許可品目　その他プラスチック製容器包装

（13）　保有資格

破砕・リサイクル施設技術管理者	1	名
安全管理者	1	名
防火管理者	3	名
第一種衛生管理者	1	名
危険物取扱者 乙4	5	名
クレーン運転士	2	名
第2種電気工事士	3	名

技能講習

フォークリフト運転	42	名
床上操作式クレーン運転	25	名
玉掛	27	名
ガス溶接	10	名
小型移動式クレーン	12	名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	4	名
有機溶剤作業主任者	5	名
乾燥設備作業主任者	3	名
主任計量者	3	名

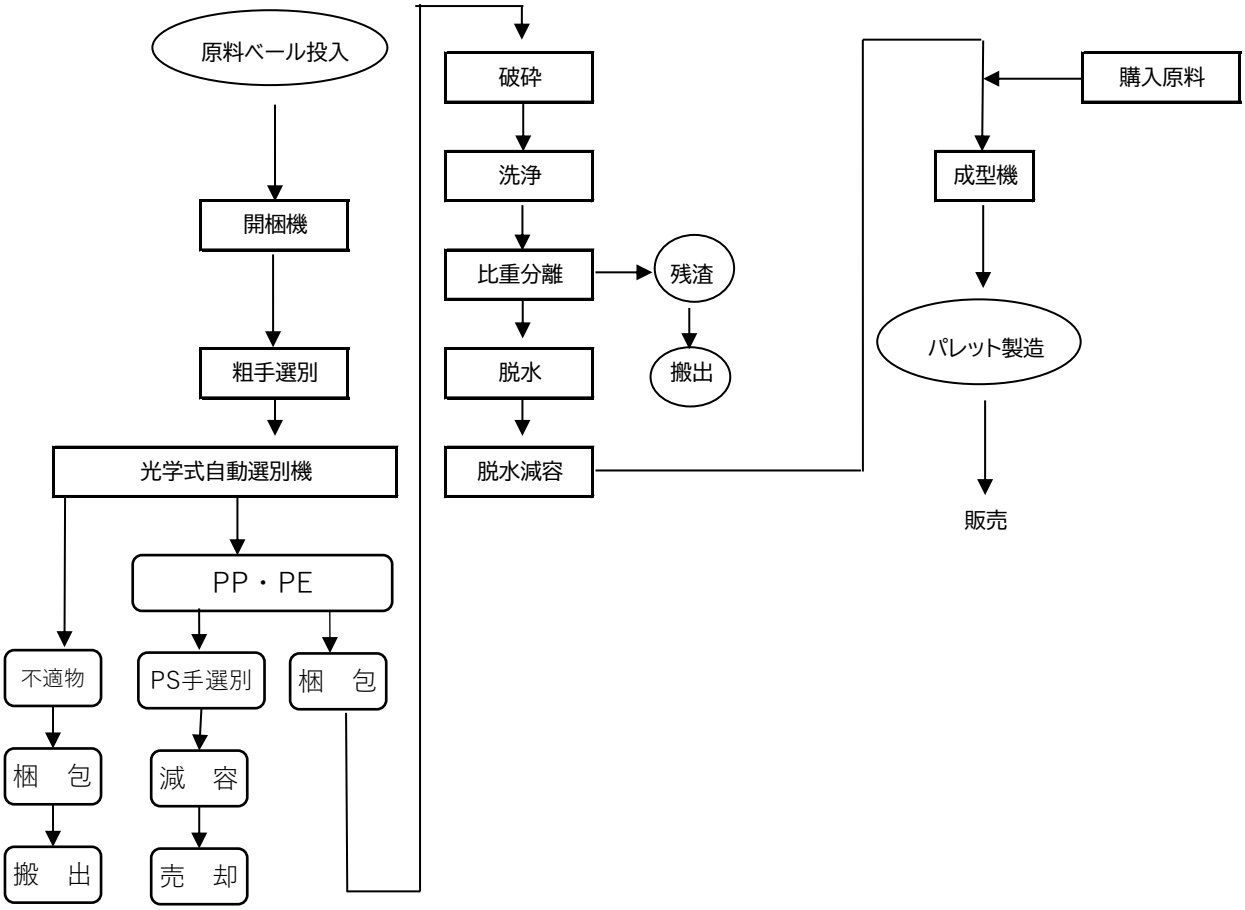
特別教育

職長・安全衛生責任者	9	名
アーク溶接	10	名
高所作業車運転	6	名

（14）　保有車両・重機

乗用車	2	台
フォークリフト（電動）	5	台
フォークリフト（軽油）	5	台
2tトラック（軽油）	1	台

（15）　製造工程

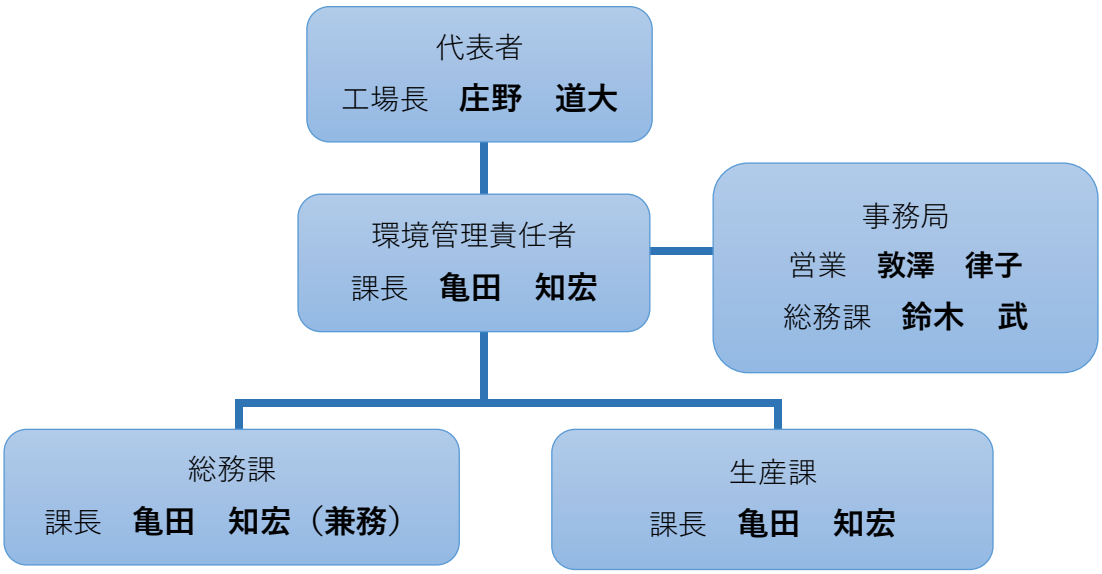


（16）　処理実績（2022年度）

①搬入廃プラスチック量	14826.16	t		
②PP・PE減容品生産量	7161.52	t		
③パレット生産量（枚数）	6955	t	（ 363424	枚）
④パレット用原料購入量	18.456	t		

（17）　地域融和活動　　工場周辺の清掃や、各自治体（取引先）で製品（パレット）および事業活動のPRの実施。

（18）　環境経営管理組織



（19）　環境経営関係責任者・担当者および連絡先

責任者	環境管理責任者：総務課　亀田　知宏
担当者	事務局：営業 敦澤 律子、総務課 鈴木 武
電話	0439-80-1555
FAX	0439-87-1923

2.　認証登録の対象範囲及び認証・登録番号、登録日

認証・登録範囲：0005103
認証・登録年月日：2010年6月17日
認証・登録事業者名：リ・パレット株式会社
対象事業所名：事務所・工場
所在地：千葉県富津市新富87-2
事業活動内容：一般廃棄物中間処理・再生、再生樹脂を原料とした
プラスチック成型品の製造・販売

環 境 経 営 方 針

基本理念

リ・パレット株式会社は、廃プラスチック再生資源化事業者及び廃プラスチックを原料としたパレットの製造事業者として、循環型社会形成の中核を担うべきものと自覚しています。

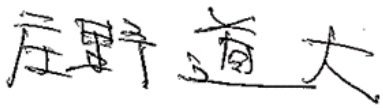
事業活動にあたっては、全従業員が地域環境、地球環境との関わりを深く認識するとともにEA21環境経営システムを導入し、公害防止、環境保全、継続的な環境負荷の軽減に取り組みます。

基本方針

当社は基本理念のもと、関係法令を遵守し、次の事項を自主的、積極的に取り組むと共に定期的な見直し、システムの継続的な改善に努めます。

1　受託した廃プラスチックの再資源化と品質の向上、廃棄物の削減に努めます。
2　当工場で排出する産業廃棄物の再利用等について調査研究に努めます。
3　機械設備の効率的な稼動に努め、電気、ガス、水等の節減に努めます。
4　設備の更新、改善はエネルギー消費効率に優れ効率的に使用できるものを採用します。
5　工場見学者を積極的に受入れ、プラスチック容器等の再資源化等について啓蒙活動に努めます。
6　事務所でのグリーン購入の推進、電気、ガス、水道、紙の使用節減及び廃棄物の削減等　エコオフィス活動を推進します。
7　社用車、フォークリフトの「エコ安全ドライブ」を推進します。
8　フォークリフト（軽油）の電動化を推進します。
9　工場内緑地の環境保全に努めます。
10　従業員の自転車通勤を奨励し、自転車通勤者を増やします。
11　4S＋1Sを徹底します。
12　環境経営方針を全従業員に周知し、その達成に努めます。
13　環境経営活動レポートは一般に公開します。

制定　2010年 1月 25日　　リ・パレット株式会社
改定　2022年 4月 11日　　工場長



4. 環境負荷の実績　　2021年度から2023年度の環境負荷実績

表－1　※二酸化炭素排出係数は2021年1月7日環境省公表2019年度実績出光興産㈱調整後排出係数(kg-CO2kWh)0.468を適用

			単位	2021年度	2022年度	2023年度
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素 ※1		kg-CO2	3,666,495	3,701,892	
②受託した一般廃棄物の処理量	搬入量		kg	14,790,830	14,826,160	
	中間処理量		kg	14,698,280	14,631,010	
	うち再資源化等量		kg	7,160,952	7,161,523	
	最終処分量		kg	0	0	0
	中間処理後の産廃等の処分量		kg	8,431,920	8,298,830	
	うち再資源化等量		kg	8,276,850	8,166,730	
③廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再生利用	kg	1,440	1,845	
		焼却	kg	1,978	1,953	
		最終処分量	kg	0	0	0
	産業廃棄物	再生利用	kg	8,121,780	8,166,730	
		焼却	kg	155,070	132,100	
		最終処分量	kg	0	0	0
④-1総排水量	公共用水域		㎥	0	0	
	下水道		㎥	42,137	52,132	
④-2水使用量	上水		㎥	502	503	
	工業用水		㎥	43,791	53,691	
	地下水		㎥	0	0	0
⑤化学物質使用量			kg	0	0	0
⑥エネルギー使用量	購入電力(新ｴﾈﾙｷﾞｰを除く)		kg-CO2	4,870,617	3,674,246	
	化石燃料		kg-CO2	32,500	27,647	
	新エネルギー		kg-CO2	0	0	0
	その他		kg-CO2	0	0	0
⑦ 物質使用量 (投入ﾍﾞｰﾙ、ﾊﾟﾚｯﾄ他社材)	資源使用量		kg	14,698,280	14,631,010	
	循環資源使用量		kg	24,320	18,456	
⑧サイト内で循環的利用を行っている物質量等	利用された物質量		kg	0	0	0
	水の利用量(再生水)		㎥	66,269	69,396	

5. 今後の環境経営目標と計画(2021年度～2023年度の中期目標)

基準年より今後3ヵ年の中期目標　　2018年5月1日改訂

※二酸化炭素排出係数は2021年1月7日環境省公表2019年度実績出光興産㈱調整後排出係数(kg-CO2kWh)0.468を適用

項　目			基準年 (2020年度)	中期目標	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素の削減 kg-CO2			4,172,290	4,047,121	4,130,567	4,088,844	4,047,121
投入量(kg)(原料ベール)			13,951,220	14,660,000	14,660,000	14,660,000	14,660,000
電力節減 (KWh)			0.626	0.607	0.620	0.613	0.607
			原単位(kWh/kg)	3%	1%	2%	3%
			8,735,770	8,473,697	8,648,412	8,561,055	8,473,697
化石燃料	ガソリン (ℓ)	社用車 営業車	320.0	316.8	316.8	316.8	316.8
				1%	1%	1%	1%
		破砕工程 高圧洗浄機	394.0	390	390	390	390
				1%	1%	1%	1%
	軽油 (ℓ)		0.00082	0.00080	0.00081	0.00080	0.00080
			原単位(ℓ/kg)	3%	1%	2%	3%
			11,454	11,110	11,339	11,225	11,110
	LPガス (m3)		158.0	156.4	156.4	156.4	156.4
				1%	1%	1%	1%
水資源節減	上水 (m3)		437	433	433	433	433
				1%	1%	1%	1%
	工業用水 (m3)		0.00337	0.00000	維持	0.00000	0.00000
			原単位(m3/kg)	維持	維持	維持	維持
			46,986	0	維持	0	0
産業廃棄物減 排出量 (kg)			0.562	0.545	0.556	0.551	0.545
			原単位(kg/kg)	3%	1%	2%	3%
			7,841,627	7,606,378	7,763,211	7,684,794	7,606,378
一般廃棄物減 排出量 (kg)			3,829	維持	維持	維持	維持
				3,829	3,829	3,829	3,829
グリーン購入比率			45.4	48.4	46.4	47.4	48.4
			購入比率増加率	3.0%	1.0%	2.0%	3.0%

6. 主な環境目標とその実績評価

[事務所]

環境経営目標	単位	2020年度	2022年度				実績評価等
		基準値	目標値	実績値	目標値比	評価	
二酸化炭素の削減（全社合計）環境方針③.⑥.⑦	kg-CO2	4,172,290	4,088,844	3,701,892	91%	○	夏の事務所は熱がこもりやすいため、窓の断熱など対策を考えたい。
一般廃棄物の削減 環境方針⑥	kg	3,829	3,829	3,798	99%	○	僅かではあるが目標値内に収まった。再生紙の手拭き等の使用が増えた。プラの再利用等で範囲内に収められた。
電力の節減 環境方針⑥	kWh	234,872	230,175	228,636	99%	○	達成となった。夏のエアコン稼働する月は未達。サーキュレーターも導入し、不要な照明も消灯している
LPガスの節減 環境方針⑥	m^3	158.0	156.4	155.6	99%	○	ギリギリでの達成となった。暖かい日が続き、使用開始が12月となり、2月・3月もそこまで冷えなかった。
社用車両ガソリンの節減 環境方針⑦	ℓ	320	316.8	521	165%	×	1000㎞を超える走行月が4月もあった。500㎞は5月分もあり、機械修理等で走行距離が一気に増えた。
グリーン購入の推進 環境方針⑥	購入比率	45.4	47.4	39.6	84%	×	消毒用品の消耗が増え、事務所棟清掃の為に清掃用品の購入が増えた。
上水の使用量 環境方針⑥	ℓ	437	432.6	503.0	116%	△	使用量が若干上回る結果となった。

[工場]

環境経営目標	単位	2020年度	2022年度				実績評価等
		基準値	目標値	実績値	目標値比	評価	
投入した廃プラスチック環境方針①	kg	13,951,220	14,660,000	14,631,010	100%	○	搬入が予定より5%程増え、うまく処理できるよう投入量を調整した。
電力の節減(全体) 環境方針③	kWh	8,735,770	8,561,055	7,850,952	92%	○	電気料金高騰もあり、節電に努めた。状況に合わせた工場の稼働停止や1日の電気料金を張り出し、空回しの注意など効率的な運転をした。
		※1原単位（kWh/kg）	0.613	0.537	88%	○	
工業用水の節減 環境方針③	m^3	46,986	46,986	53,691	114%	△	破砕工程で使用する水の量が増えた。再生水も工水以上に使用しているが、水の汚れ等もあり工水で賄った分が増えた。
		※1原単位（m3/kg）	0.00337	0.00367	109%	△	
産業廃棄物の削減 発生量（不適ベール・比重・SS・汚泥）環境方針①	kg	7,841,627	7,684,794	8,263,342	108%	△	独自ルート分の受け入れもあり、600t弱ほど搬入量増加となったため発生量の増加に繋がった。 置場の問題があり、質より量の現場稼働をした結果、産業廃棄物の量が増えた。
		※1原単位(kg/kg)	0.545	0.565	104%	△	
軽油の節減 環境方針⑧	ℓ	11,454	11,225	9,601	86%	○	現場での作業を効率化し、1日の処理量を上げた結果、作業時間の短縮化が出来た。搬入にもよるが週に1日停止による省エネの効果が大きい。
		※1原単位(ℓ/kg)	0.00080	0.00066	82%	○	
ガソリンの削減 環境方針③	ℓ	394	390	580	149%	×	原単位では達成となったが走行距離が大幅に増えた結果、使用量も増えた。
省エネルギー機械を採用 環境方針④	○△×	実施	○	○	-	○	汚泥脱水機を入れ替えた。現場の処理量が上がっており、能力不足が解消され効率的な運転が出来ている。
工場内の4S 環境方針⑪	○△×	実施	○	△	-	△	一部未達となったが、稼働中の空いた時間で4Sが出来ていた。来年度も推進していく。

7. 環境経営活動計画の取り組み状況と次年度の取組内容

（1） 事務所

環境経営目標	取り組み	結果	評価	2023年度予定
電力の節減 （工場の使用電力量に含む）	① 冷房28℃以上、暖房20℃以下に設定	△	①夏と冬は設定を超える温度で使用した。冬が暖かかった為、少し抑えられた。 ②･③は出来ていた。電気代の高騰を受け、平日も蛍光灯半減化を実施した。	夏の事務所は熱がこもりやすいため、窓の断熱など対策を考えたい。
	② PC低電力状態の徹底	○		
	③ 事務所棟、応接室、ミーティングルームの蛍光灯半減化	○		
紙の節減	① 両面コピーの設定	○	どの項目も実施できた。 裏紙が底を付き、出たら使用している。	引き続き、削減をしていく 印刷前に確認するように周知していく。
	② 裏紙の使用	○		
	③ PC FAX、メール配信の活用	○		
LPガスの節減	① 用途に適した温度設定（給湯温度は37℃～40℃）	○	37℃に徹底したおかげで僅かであるが年間目標達成となった。	気温により使用頻度が変わるが、37℃で何年か継続しており、今後も続けていく。
	② 無駄な使用の抑制（4～10月は使用しない）	○		

（2） 工場

環境経営目標		取り組み	結果	評価	2023年度予定
電力の節減	選別	① ベルトCVの蛇行、脱落等の点検	△	必要に応じて点検しているため△やーとなっている。稼働中に異音や振動を感じたら停止し対応後に稼働している。 現場作業者以外にも保全担当者が各項目を確認している。	現在の記入方法の変更を考える。各々で基準が違っていることが見受けられるので、確認して周知を図りたい。
		② 各ベアリング振動、異音点検	△		
		③ 各モーター発熱、異音、エアブロー点検	△		
		④ グリスアップ点検	ー		
		⑤ Vベルト、CVチェーンの緩み、空滑り等のテンション調整	ー		
		⑥ キャリブレーションライト上のエアブロー	○		
	破砕	① 各ベアリング発熱、異音、グリスアップ点検	○	安定した稼働が出来た。 必要に応じて刃物交換も実施し、処理量も増やすことが出来た。 ○以外の物は稼働している中で確認したりしている。Vベルトやチェーンの調整も少ないが稼働する中で微調整している。 ④の計量コンベヤが古いため更新の手配をしている。今年度が間に合わない為、次年度になる予定。	安定した稼働が出来たので次年度もこの状態を維持する。 回転物が多い工程なので、メンテナンスをしっかり行いたい。
		② 各モーターとプッシャーオイルクーラーブロー	△		
		③ 機械の振動、異音の確認	○		
		④ 計量コンベヤ0点調整	ー		
		⑤ Vベルト、CVチェーンの緩み、空滑り等のテンション調整	×		
		⑥ 破砕機ローテーション	△		
	成型	① モーターグリスアップ	○	特に問題なく実施している。 土日含めた連続稼働があったが状況に応じて適切な対応をしている。	次年度も維持する。 気温の状況によってチラーの片系運転も実施する。
		② 運転終了時、チラーの電源OFFの徹底	○		
		③ 旧倉庫の電気消灯の徹底（18:30までに消灯）	○		
工水･下水の節減		① PACの適正量使用	○	どれも実施しているが搬入の増加などで薬剤の使用量があがった。汚泥の引き抜きが追い付いていな時期もあり安定するまで量を増やす。	生産量が増えたため、汚泥が溜まり気味になっている。溢れた汚泥は再生水貯留槽に溜まるので注意する。
		② 汚泥含水率の低減化	○		
		③ 中水使用率の引き上げ	○		
廃棄物の削減		① 選別機メンテナンスの実施（ガラス面、センサーの清掃）	○	収率に影響するため毎日実施	メーカー点検も予定する
軽油の節減 （フォークリフト）		① 急停車･急発進の抑制	○	搬入量に対して効率的な運転が出来ている。バッテリーフォークの導入やエンジンフォークの台数が減ったこともあり、目に見える形で使用量が少なくなった。	去年に比べても2000ℓ強ほど少なくなった。搬入の多さで置き場所までの移動距離がネックとなっている。エンジンの掛けっぱなし等が見受けられるので、切るように周知する。
		② ふんわりアクセルの実施	○		
		③ アイドリングストップの実施	○		
		④ 走行距離の短縮	○		
設備導入時に 省エネルギーの物を採用		① 設備の更新･追加時の選定	○	汚泥脱水機更新。処理が不十分だった。大型化して無理な運転が無くなった。	処理量が増えているため、ろ布の交換を含め、効率的な運転を進めていく。
工場内の整理･整頓･清掃		① 場内外に散乱した原料は速やかに回収	○	4Sで一部が来ていないことがあったが、日常的に出来る様になった。その他の項目については特に問題なく出来た。	4Sが通常稼働時も実施しているので、チェック表の周期変更を考えたい。
		② 4Sの実施	△		
		③ 使用後の工具を収納する	○		

8，社内での主な取り組み

工場周辺、敷地内のゴミ

エコドライブ推進

節電・節水　呼びかけポップ

エコマーク付き作業服

PCFAXの導入

9、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

①次の環境関連法規等の要求事項、遵守状況等を一覧表に取りまとめ確認・評価した。

ア　廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）
イ　フロン排出抑制法
ウ　富津市環境条例（騒音規制法、振動規制法）
エ　計量法
オ　電気事業法
カ　富津市火災予防条例　（消防法）
キ　君津富津広域下水道組合　下水道条例
ク　千葉県工業用水条例　（工業用水道事業法）
ケ　労働安全衛生法
コ　千葉県自然環境保全条例　（緑化協定）
サ　国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）
シ　容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装ﾘｻｲｸﾙ法）
ス　特定家庭用機器再資源化法（家電リサイクル法）
セ　使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）
ソ　特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）
タ　毒物劇物の盗難・紛失 防止及び医薬用害劇物の表示（毒物及び劇物取締法）
チ　有機溶剤等の貯蔵及び掲示（有機溶剤中毒予防規則）
ツ　エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）
テ　労働安全衛生法
ト　千葉県自然環境保全例（緑化協定書）
ナ　NOX法・PM法
ニ　工業標準化法（JIS Z 0609）
ヌ　特定家庭用機器再資源化法（家電リサイク法）
ノ　小型家電リサイクル法

②遵守状況の確認及び評価の結果等

2023年4月28日（金）に遵守状況の確認・評価を行いましたが
環境法規制等の違反は一切ありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘及び訴訟等は、過去3年間ありません。

10、代表者による全体評価と見直し

電気使用量は目標達成出来た。
電気料金高騰もあり、今後も効率的な運転に努めたい。
設備更新予定はないが更新の際は、環境経営方針4に基づき、
省人化・省エネルギー機器の検討をしたい。

®環境省
エコアクション21

認定番号0005103

この環境活動レポートは、ご希望があれば差し上げています
ご希望の方は下記事務所窓口までお申し出ください
なお、エコアクション21中央事務局のHPでもご覧になれます
（ http://www.ea21.jp/ ）

リ・パレット株式会社
千葉県富津市新富87-2
TEL:0439-80-1555
FAX:0439-87-1923
mail:re-pallet@re-pallet.co.jp